

第49号

令和2年3月1日発行
— 編集・発行 —
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

新 春

第十五回

とよつかるた大会

令和二年一月二十六日、令和初のとよつかるた大会が開催されました。

幼児の部三人、小学生低学年の部四人、中学年の部十二人、高学年の部十人、一般の部九人、シニアの部五人の計四十三人が参加し、賑やかにかるた取りと餅つきを楽しみました。

かるた取りでは、低学年の部と一般の部で一位が同枚数になり優勝決定戦が行われるなど、白熱した大会となりました。

餅つきは、最近家庭では経験できない杵と臼で行いました。子どもたちは一生懸命に杵を振り下ろし、だんだんとお餅になっていく様子を興味深げに見入っていました。

参加していただいた皆さん、ありがとうございました。今年の他の行事にも引き続きご参加よろしくお願います。最後になりますが、毎回事業を裏で支えている皆さん、今回も大変お疲れ様でした。



餅つき



かるた取り



開会式



準備



花餅飾り



優勝者紹介

かるた大会

幼児の部



山口 奏空ちゃん
(そら)

がんばりました!



一般の部



山町 浩信 さん

この日のために1年間練習してきました。明日から来年に向け練習します。

シニアの部



君和田 美智子さん

今年も風邪をひかずに参加できて、うれしかったです。

小学生部門

低学年の部



君和田 琴ちゃん
(こと)

うれしいです。



中学年の部



山町 彩奈さん
(さな)

今年も勝てて良かった。



高学年の部



君和田 梨音さん
(りお)

優勝できると思っていなかったの、うれしいです。



うらら会(地区社協)クリスマス会

二月十三日開催 六十五名参加

今年も楽しい『クリスマス会』が開催されました。午前中はウェルポート鹿嶋の郷の職員から講義を受け、続いて大船津保育園児の可愛いお遊戯が披露されました。一生懸命に踊る園児たちに参加者は皆とても癒されました。♪
そして、豪華で美味しいお昼の後、豊津小学校児童から合唱のプレゼント。子どもたちの美声に聞きほれていました。最後は、みんな一緒にゲームをして楽しみました。
イベントの多い、とても楽しい一日を過ごした素敵なクリスマス会になりました。
今後も「うらら会」の企画が楽しみです。



今年も健康のために歩こう!

今年度の新春レッツウォーキングは、一月十一日に「橋めぐり」をテーマとして行いました。【参加者十名】
今回の「橋めぐり」では、(左側写真上から順に) 神野橋・御園生(みそのお)橋・春内(はるうち)橋・下埴橋・宮中大橋の五つを渡りましたが、皆さん、どこにあるかご存じですか?今回、市スポーツ推進委員連絡協議会の大岩会長が参加して下さい、橋や道路などの説明があり、参加者からは「普段何気なく通っているが、今度からは意識して通るようにします」との声も聞かれました。



第24回 とよつまつり

晴天に恵まれて 賑やかに開催

十一月十七日、第二十四回を数える「とよつまつり」を開催しました。会議室や通路には、各種プロ顔負けのような力作や子どもたちの微笑ましい作品が所狭しと展示され、素晴らしい作品に感嘆の声が聞かれました。また、図書コーナーでは午後から「芸能発表会」が行われ、多くの拍手が響き渡っていました。

館外では、模擬店やフリーマーケットなどが開かれ、野菜や花、食べ物が入ったビニール袋を両手にぶら下げる姿や目当ての食べ物を購入して美味しそうに頬張る姿、お友達と話し込む姿などが多く見られました。また、クロックエー場では紙芝居も開かれ、お天気も良かったことから、多くの子どもたちが楽しそうにお話を聞いていました。

最後は、恒例のお楽しみ抽選会。一つひとつ当選番号が読み上げられるとともに、喜びの声と大きなため息が館内に響き渡り、今年度の「とよつまつり」は幕を閉じました。

実行委員として参加された皆さん、そして協力をいただいた皆さん、大変お疲れ様でした。また、遊びに来てくれた皆さん、ありがとうございます。

なお、今回の「とよつまつり」の本部テントに台風被災地への義援金の箱を設置したところ、多くの方に温かいご賛同をいただきました。後日、売上金の一部も合わせ、茨城新聞社鹿嶋支社を通じて、被災された皆様へお送りしましたのでご報告いたします。
(そよかぜ第十六号で既報)



▲今年のをらアートは『ドラえもん』。その下は一昨年の『トトロ』と昨年の『ネコバス』。わらアートクラブの皆さん、いつも楽しませてくれてありがとうございます。



【写真説明】①賑やかな会場風景②今年も好評だった「豊津の八百屋」③輪投げに夢中④楽しかった紙芝居⑤今年も活躍のお餅シスターズ⑥力が勢揃いの作品展⑦美しい音色の大正琴⑧豊津小児童の合唱⑨三味線に大きな拍手⑩懐かしのメロディー

地域点検・防災避難訓練

【避難訓練】 十二月十九日※児童と地域住民十名参加 洪水災害を想定し、豊津小学校と地域が連携しての避難訓練を計画しましたが、あいにくの雨で鹿野中への移動訓練は中止（一月十六日に学校だけで実施）となり、小学校で霞ヶ浦工事事務所長の講演を聞きました。

豊津地区も過去には、大きな洪水被害を受けたことがあります。現在は強固な堤防ができたおかげでそのような心配がなくなりましたが、今まで経験したことのない自然災害が続く昨今、どのようなことが起きるかわかりません。日頃から災害についての備えを万全にし、避難経路も実際に歩いて確認し、自分の命は自分で守る行動を心がけてください。

【地域点検】 十月三十日

豊津小学校の下校時に、児童と一緒に歩いて地域の危険箇所や災害時の避難経路について点検しました。

地区を歩いてみて、廃墟化した住宅や倒れそうで危険なブロック塀と樹木に気がつきました。今回の点検で見つけた危険箇所については、改善を要望していきます。



かるためぐりシリーズ②

わ 若衆が 各戸に侍せ 村祈禱

ひ 百人つ 煩惱沈めん 老婆たち



わ 若衆が 各戸に侍せ 村祈禱



ひ 百人つ 煩惱沈めん 老婆たち

鹿島町史などによると、新田では、一月二十四日に若衆が笛、太鼓のお囃子をしながら、雌雄の神楽を舞い、村内を戸別訪問して家内安全のお札を配ったとある。一種の「村祈禱」だ。村祈禱は、村人の一年間の無病息災を願って念仏をあげる新年祈禱の行事であり、老女たちが大数珠を持って集落内の各戸を訪問して念仏をあげたり、お寺に集まって太鼓を中心に念仏を唱えながら大数珠を順送りしたりと、地区により内容が異なる。新田地区でも、かつては絵札にあるような大数珠を使つての村祈禱が行われていたと思われる。



▲ 神楽の時期にあわせ、地区のおばあさんたちが縫製したお着物（提供：生井久さん）昭和50年頃撮影

第16号（H20.3.1）から続いた「かるためぐりシリーズ」は今回で終了します。

「豊津の未来」を真剣に考えました

十二月十三日、今年度二回目のテーマは、豊津ならではの『農業×田んぼ』でした。市役所と市農業公社から講師を招き、豊津地区の稲作について、農地中間管理事業についてのお話を伺い、現状の課題や要望、個人的な考えなど、ざっくばらんに意見や感想の交換をしました。

《主な声》

- ・先祖からの土地を荒らさないように、これからも維持（草刈・水管理）していきたい。
- ・若手を育てるため、子どもに教えている。
- ・農地中間管理制度はあるが、条件の悪いところは借りてもらえない。
- ・湖岸南部（土地改良区）の区画は奥行きが五〇メートルのため、借りる人が二の足を踏む。
- ・暗渠排水が効かないので、米以外作れない。
- ・湖岸南部の用水を、蛇口にしてほしい。

農地の条件が悪い。農地を荒らしたくないが、維持管理に費用と手間がかかる。お米が安くて困る。など、農家を取り巻く環境も厳しいものがあります。が、豊津のイメージである、美しい田園風景をずっと維持していきたいですね。

◆つばやき◆

昨年五月に年号が「平成」から「令和」に変わり、今年も西暦も二〇二〇年と次のデイクイッド（十年間）に入りました。何か新しいことが起こる、そんな予感を感じさせてくれます。

特に今年にはオリンピックイヤー。しかも地元カシマサッカースタジアムが男女サッカー会場となり、五十六年前と比べ、すごく身近にオリンピックを感じます。（もつとも当時私はまだそれがわかる年齢ではありませんでしたが）

鹿嶋の西の玄関口「豊津」でも、何かレガシー（遺産・後に残るもの）を残したいですね。（H）